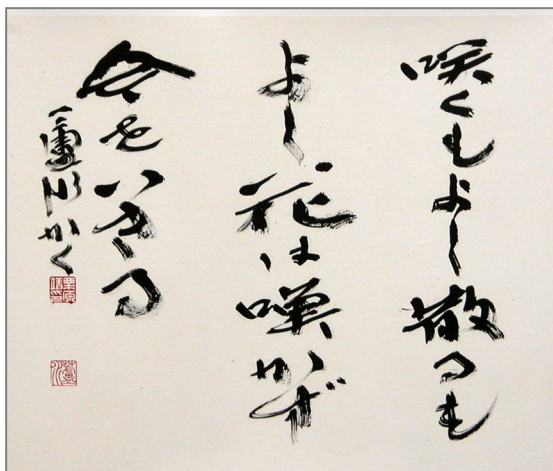


日	曜	常設展示室・展示室
1	水	春の所蔵品展 「これなら読める 一漢字かな交じりの書」 会期：2024年4月5日(金)～6月8日(土) ※前期後期作品入れ替えあり 前期：4月5日(金)～5月6日(月)
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	展示替えのため休館 5月7日(火)～9日(木)
8	水	
9	木	
10	金	後期：5月10日(金)～6月8日(土) 休館日：月曜休館 ※ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館。 5月7日(火)は休館。5月8日(水)、9日(木)は 展示替えのため休館。 会 場：常設展示室・展示室
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	<div style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 展覧会内容 </div> 現代の「漢字かな交じりの書」は、草書や変体がなを使わず、日常的で身近なものを素材とした表現で、書の一分野として親しまれるようになってきました。漢字、かなの書家たちも、それぞれの分野での基礎の上に立って、言葉の持つイメージを大切に、漢字とかなの調和を図った作品を発表しています。本展覧会では、常設展示室 <small>くりはら ろすい</small> に栗原蘆水作品を、展示室は桑田笹舟、宮本竹逕、桑田三舟、中室水穂の作品を展覧しご紹介いたします。作品を読み、内容を味わい、書かれた思いとの対話をお楽しみください。
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	



栗原蘆水《咲くもよし》後期展示

漢字書家の村上三島(1912-2005)は、「読める書・親しみやすい書」をスローガンとして自身も制作し、弟子たちへも率先して制作を薦めました。今回の所蔵品展常設展示室全体では、村上三島の弟子である栗原蘆水(1931-2010)が書いた「漢字かな交じりの書」を展覧しています。

さて、「読める書」を制作するにあたって、観覧者も読むことができる作品を制作すると…書家も題材選びにはこだわりをみせます。そして選ばれた作品からは書家の好みが見えたり、メッセージ性が加わり作家の想い・考え方や性格を感じることもできます。みなさんが今回の展覧会で「読めた書」の中で、文章・言葉に共感した作品があれば、書家先生方への「親しみ」も湧いてくるかもしれませんね!

所蔵品展観覧料	
一般	150円 (120円)
高校生以下無料	

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です	
■	社会福祉施設に入所されている方
■	福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方 (運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要)
■	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。
 ※月曜日【 の日】は休館日です。



〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
 JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m TEL 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
 電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp